

事業所における自己評価結果（公表）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点や課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・コロナが5類になり、人数制限は設けず療育を行っている。利用人数が多い時には他の部屋を調整し使用している。 ・面接室がないため、保育室やリハビリ室を利用している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・肢体不自由児通園のため座位保持椅子や使用する椅子等の置き場などに工夫が必要である。できるだけ園児にわかりやすい環境づくりに努めているが、収納する場所が少ないので整理整頓に努めている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・療育終了後、丁寧な掃除と消毒等を行っている。動きのあるお子さんも増え、活動の範囲が狭く感じられる。仕切りが必要なお子さんにはパーテーションを使い支援をしている。 ・保育室内の温度や湿度に気をつけ、定期的な換気を行うようにしている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		・事業計画の作成、見直しを全職員が参加、取り組んでいる。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・利用者アンケートや面談等で利用者からの意見を伺い、改善に努めている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・ホームページで公開するとともに、結果を閲覧できるようにしている。また通園の保護者には特に関心がある事項に関しては回答を配布している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・第三者による外部評価自体は行っていないが、指定管理者として評価を受けており、業務改善につなげている。また苦情解決に関する事項については第三者委員会を設置しており、業務改善に取り組んでいる。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・当法人は社会福祉事業団が作成している研修体系に基づき研修を進めている。職員の資質向上や資格取得のための研修にも積極的に派遣している。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・子どもの状況はアセスメントシートを使用し把握している。目標や課題は関わっている専門職の意見も参考にして保護者のニーズは面談の中で反映している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・子どもの状態像が幅広いため、事業団の肢体不自由児通園施設共通のアセスメントシートを使用している。

適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・児童発達支援計画は子どもの状態の把握、保護者のニーズに基づき、児童発達支援ガイドラインから必要な項目を選択し支援内容を設定している。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・支援についてはスモールステップを心がけ、子どもが無理なくできるものになっている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・多職種と連携し、担任をはじめ支援する職員は共通認識を持ち立案している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・集団や子どもたちの状態、季節や行事を取り入れてプログラムを展開している。毎年、見直しもしている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		・個別の運動訓練と集団による療育を組み合わせた計画を作成している。 ・必要な子には全体の教材とは別にその子に合った教材を用意し提供している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・事前に療育準備とともに内容の確認、役割分担を打ち合わせしている。または当日に必ず打ち合わせをして最終の確認をしている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・支援終了後には必ず職員間で振り返りや情報共有を行っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・毎日記録をし、職員間で情報共有を行っている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・数人の職員でモニタリングを行い、意見を出し合って見直している。
		㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・必要なケースは連携をしている。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		・必要に応じて、当センターの医師と主治医が連携を取っている。

関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		・主治医と当センターの医師が連携し、連絡体制をとっている。
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・就学先や児童発達支援センター、事業所等に移行が決まった際は引継ぎを行い、情報共有や相互理解に努めている。 ・またサポートブック作成の支援も行っている。
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・リハビリ見学会や教育相談などで情報共有し支援している。
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・職種(保育士、リハビリ)ごとの連絡会を定期的実施し参加している。必要に応じて研修に参加し、自己研鑽に努めている。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・近隣の保育園の園庭利用を復活した。より交流が持てるように内容や時間なども検討したい。
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・にここ園からの参加はないが、同センターに所属する相談支援専門員が参加している。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・親子通園の中で日頃から保護者とのコミュニケーションを図っている。また個別面談や食事相談、ジョイント保育を通して子どもの状況を話す機会を持っている。 ・単独通園はお便り帳や電話で確認している。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・通園の中で「食事」「福祉用具」「子どもの健康」「姿勢管理」などの学習会を行い、障がいや子どもへの理解を深めるための支援を行っている。また、先輩保護者の話を聞く機会を作り、障がいをもつ保護者同士の交流を図っている。
	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時には契約書や重要事項説明書に記載している内容を説明している。
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・新入園児の保護者には児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」について説明している。またそれに基づき個別支援計画を作成し同意を得ている。
㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・個別面談3回、家庭訪問年1回、園長面談年1回を計画的に実施している。日頃から保護者とコミュニケーションを取るようになっている。	

保護者への説明責任等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・保護者会役員と園長、担当者が定期的に連絡会を行い、連携を図っている。
	㉑	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・通園中、通園外でも随時、相談や申し入れについて担当者、園長が話を聞き、迅速に対応できるように心がけている。
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・定期的に園だよりを発行している。また毎月グループだよりを発行し、保護者に説明し情報発信をしている。
	㉓	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・個人情報については毎週金曜日に注意喚起、ヒヤリハットの事例や事故報告をして共有している。
	㉔	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・一人ひとり障がいの状態に合わせて、意思疎通に必要な支援内容を検討し提供している。また保護者にわかりやすいように簡潔な資料を作成し、説明している。
	㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・コロナが5類に移行し、託児や赤ちゃんボランティアの受け入れを再開している。また園行事に地域の民生委員の方を招待し理解を促した。
非常時等の対応	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・年度初めに緊急対応マニュアルを作成し、職員間で共有確認をしている。また、防犯マニュアルや感染症マニュアルなど必要な時期に職員間で確認している。保護者にも必要なものは配布、周知している。
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・毎月、火災や地震を想定した避難訓練を実施している。 ・年2回総合避難訓練も実施している。
	㉘	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		・入園時に全員に医療情報票を記入してもらい、提出をお願いし、職員間で確認をしている。 ・連絡ノートや口頭でも日々確認をしている。
	㉙	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・必ず医師の指示書を提出してもらい、看護師、調理員、保育スタッフが確認をして対応している。
	㉚	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・ヒヤリハット事例集を作成しており、事故につながりかねない事柄がおきた場合に職員間で共有し、事故防止に努めている。
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・毎年研修を実施し、職員間で共通理解を促している。
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・安全のためのベルト着用や歯磨きなどの介助場面で保護者と確認しながら行なっている。 ・契約書に身体拘束をする場合についての記載をし説明をしている。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。